

第20回年次大会

2011年度の運動方針を補強し決定

連合新潟

第237号 2010.11.15
 日本労働組合総連合会
 新潟県連合会
 〒950-8558 新潟市中央区新光町6-2
 TEL025(281)7555
 FAX025(281)7556
 発行人 江花和郎
 題字 宮崎 崎 樹
 定価 1部5円

購読料は会費を含む

11月の主な活動

- 5日 連合新潟第20回年次大会
- 12日 女性委員会四役会議
- 13日 土曜相談会
医療部門連絡会交流研修会
- 17日 第1回四役会議
- 24日 第1回執行委員会
- 24日 朝街宣(新潟駅前)
- 27日 女性委員会総会
青年委員会総会
- 29日 県知事要請



JAM新潟 大場代議員



JP労組 星野代議員



電力総連 米山代議員

2011年度地協年次総会(2010年11・12月)

(2010年11月10日現在)

地協名	月 日	開始時間	会 場
下越	12月4日(出)	13:00~	新潟東映ホテル
新潟	12月1日(水)	18:30~	ガレソンホール
佐渡	11月24日(水)	18:30~	新潟交通ビル6階
県央	11月28日(日)	14:00~	県央サターニア7階 マルチメディアホール
中越	11月19日(金)	14:00~	ホテル ニューオータニ長岡
柏崎	12月20日(月)	18:00~	産業文化会館3階 大ホール
上越	11月19日(金)	15:00~	ロワジールホテル 上越

泉田県知事、篠田新潟市長、
 国会・県会議員など多くの

退任の鈴木誠一執行委員
 (サーピス・流通連合)



連合運動への結集を訴える江花会長あいさつ

連合新潟は一月五日、代議員、役員、来賓など約一八〇人が参加し、新潟市で第二〇回年次大会を開き、「すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう」をスローガンとする、二〇一一年度活動計画、勤労福祉会館の維持管理の具体的な対応などを満場一致決定しました。

第二〇回年次大会は、昨年の定期大会で決定した二一年間の運動方針を補強し、二〇一一年度の活動を決定するとともに、連合新潟など多くの労働組合が入居する「勤労福祉会館」が勤労

者のより所としての役割を發揮していくために、会館の管理・運営を担当する労働協から「長期修繕計画」の提起を受けて、連合新潟の具体的な対応を決める重要な機関会議です。

二〇一一年度活動計画では、JAM新潟・大場代議員から、「連合新潟には、非正規を含めた取り組み、中小への支援、世論に左右されない選挙対策、情報発信で多くの人が参加できる、取り組みをお願いしたい、

大会は、議長団に情報労働・久保議長長、JEC連合・小林副議長長を選出し、議事を進めました。
 江花会長はあいさつで、①雇用労働者の賃金は低下し続け格差が広がった。賃金の低い方に目を向けた取り組み、集团的労使関係を

つくらなければならない、②グローバル化が進む中で、経済活動は避けられないが、働き方では「ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)」をすべての国で築くことはできない。公正なワークルールを確保しなければならないなど

に触れ、スローガンをふまえた連合運動への結集を訴えました。
 来賓あいさつ後、二〇一〇年度の活動報告・財政報告・会計監査報告を承認しました。

二〇一一年度活動計画では、JAM新潟・大場代議員から、「連合新潟には、非正規を含めた取り組み、中小への支援、世論に左右されない選挙対策、情報発信で多くの人が参加できる、取り組みをお願いしたい、



鈴木さんには、今後とも連合新潟推薦の労働審判員として協力いただきます。

勤労福祉会館の維持・管理に対しては、電力総連・米山代議員から賛成の立場で「労働協と連携し、公平性・透明性ある取り組みを求めたい」との発言があり、その点も含め周知・相談しながら取り組んでいくことを確認しました。

来賓の参加により開催、すべての日程を終了しました。今大会で鈴木誠一執行委員(サーピス・流通連合)が九年四ヶ月の連合新潟役員にピリオドを打ち、表彰規程により表彰されました。

この三日間では、まず連合二〇周年記念作成のDVDによる、連合の歴史を学習しました。

今は当たり前のよう存在している連合ですが、統一フェスのもと、というフレーズのもと、組合役員らの心得を学ばれました。六クラスに分かれての分科会では、私自身、労働組合が政治に取り組みむ目的が理解できていないので、勉強する機会でした。

私も今後、CS・ESを心掛けてコミュニケーションを実行しようと思います。

連合新潟 愛のカンパ運動 (11/1~1/31)
 地域協議会へ募金をお寄せ下さい。

連合ユースラリー参加 全国の青年と交流

連合ユースラリーって何だろうと思いつつも、ヤマハリゾートつま恋へ、期待に胸を膨らませながらの現地入りでした。
 全国の連合青年組合員およそ三〇〇人が参加しました。一〇人、三〇班に分かれ同じ班のメンバーは、三日間、行動を共にする仲間です。
 この三日間では、まず連合二〇周年記念作成のDVDによる、連合の歴史を学習しました。
 今は当たり前のよう存在している連合ですが、統一フェスのもと、というフレーズのもと、というフレーズのもと、組合役員らの心得を学ばれました。六クラスに分かれての分科会では、私自身、労働組合が政治に取り組みむ目的が理解できていないので、勉強する機会でした。
 私も今後、CS・ESを心掛けてコミュニケーションを実行しようと思います。

星 正人・渡辺直司・渡辺直司・横田修一
 連合ユースラリー新潟から参加者
 組合役員らの心得を学ばれました。六クラスに分かれての分科会では、私自身、労働組合が政治に取り組みむ目的が理解できていないので、勉強する機会でした。
 私も今後、CS・ESを心掛けてコミュニケーションを実行しようと思います。

横田修一・渡辺直司
 (電機連合三洋電機労組)

